

# 100のルイズ



成人向  
FOR ADULT ONLY

『べ…別にあなたの為って訳じゃなくて…  
悔しかったただけなんだから…っ！』  
ふちふちと浮気寸前の妄想を繰り返すサイトに  
だんだん心配になってきたルイス。  
モンモランシーに頼んで作ってもらった  
爆乳化の秘薬ではーわーっす。

『あ、マンタがあのメイドとか姫様とかディノニアとか…  
お…お…お…お…お…お…お…お…お…お…  
お…お…お…お…お…お…お…お…お…お…  
だから…私も…』

『その…そんな…ロジロジ…お…お…お…お…お…お…  
と…と…と…と…と…と…と…と…と…と…  
と…と…と…と…と…と…と…と…と…と…  
と…と…と…と…と…と…と…と…と…と…  
卑怯だぜルイス…』

『…このわがサイトの目…あの…あの…あの…  
みんな…い…い…い…い…い…い…  
こんな目で見られてただ…た…た…た…』





豊満に育った乳房。  
しかしその先っぽは未成熟な  
陥没乳首のままでした。

『やん♡おそ♡  
おあ…おひ…  
お♡お♡お♡  
だめおあ…お♡』

『あああ♡  
だめっだめだめ♡  
そんな♡強♡…♡  
はううう♡！  
吸いだされちやんおあ…お♡』

《あ…♡  
嘘…♡  
こんな♡…わたしの…♡  
ちくび…えっちなかたち…♡  
はっ…♡  
ひん…♡おあ…おあ…おあ…♡

《おあ…♡  
いっ♡いっ♡欲♡…♡  
おあ…♡おあ…♡



敏感な乳首をさんざん騎られて  
完全に出来上がったルイズ。  
はしたなく才人の野太いちんぽを  
つるつるのすじまんに唾え込んで  
夢中で腰を振ります。

『うそお…いや…だめ…これ…っ♡』  
『ル…ルイズ…なんかすげえはげし…っ♡』  
『ち…ちが…っ♡』  
『ま…魔法の…副作用なのお…っ？』  
『あ…し…信じられないくらいっ♡』  
『気持ち…良いのおおお…っ♡』



ルイズのおまんこを突き上げるだけでは  
当然飽き足りない才人。  
背中から思う存分たがった乳肉を  
握ね回します。

『あひっ♡ひああんっ♡  
らめっ♡おまんこっしながらっ  
おちちぐにぐに…っ♡  
ら…っ♡めえええええっ♡』

『う…わ…っ！  
膣内…っうねってる…っ！』

《駄目…っ♡駄目ええ…っ♡  
あ…おまんこめ…っ♡  
サイトのおちんちんで  
ずぼずぼエグられて  
イっちゃったあ…っ♡

『ルイズ…っ！  
ごめ…っ俺…っ  
止まないっ！』

ルイズの膣内の絡みつかれる  
腰が溶ける様な快感に、  
才人は抽送がやめられない。  
いった直後の敏感すぎる  
膣壁を擦り上げられて  
半泣きになりながら  
ルイズは喘ぎ続けます。

『ざっ♡おまんこっ！  
や…っ♡なめ…っ♡んじゅあや…っ♡  
いった…っ♡ほっからなのおまんこっ♡  
サイト…っ♡サイト…っ♡わらうね…っ♡  
も…だめ…っだめだめ…♡  
きもち…っすきるの…  
おまんこ…きもちいいのあ…っ♡



才人にしがみ付きながら  
快楽に飛ばされそうな意識を  
必死に繋ぎ止めるルイズ。  
才人も限界が近いがつつした  
ピストンで応えます。

『だめ…つあたま…ばかになっちゃう…♡』  
『ばかになっちゃうえ…っ！ルイズ…っ！』  
『いや…いやいやあ…っ』  
『ルイズはイクの嫌か？』  
『う…っ♡うっ♡…っ♡』  
『い…イクの嫌じゃないっ気持ち良いの…すき…っ♡』  
『サイドに気持ちよくなって貰うの好き…♡』  
『なら思いつきりイっちまえよルイズ…っ』  
『だめ…だめなの…っ…これ…っ♡』  
『すごすぎて…っ許して…許してサイド…っ♡』  
『イク…っ♡イク…っ♡イク…っ♡』

絶頂時の激しい痙攣で  
射精に導かれる才人。  
ルイズの膣内はもつとちと精液をこ  
ねたるようにちんぽを搾り上げます…。

『わ…あ…♡わ…わ…あ…♡  
あ…あ…♡わ…わ…あ…♡』

一晩中ずっと才人に  
犯されて息も絶え絶えのルイズ。  
しかし子宮一杯に精液を注がれて  
心なしか嬉しいような彼女なのだった…。

『…はひ…♡♡♡…おもった  
しんじゃうかと…おもった…  
何回だしたのよ…全く…♡  
私が半分気失ってるのに…  
それでもするなんて…♡  
サイトの…ケタモノお…♡  
『…ごめん…』  
『こんな…いっほい…♡  
精液…出しちゃって…♡  
「聖女さま」「ごーんな酷い真夜中…  
責任…取りなさいよな…サイト…♡』

おしまい。





## 後書

くぎゅううう

えーとなんで今回こんなネタなのかというと！  
それは私が釘宮病患者だからです！  
あとトランジスタグラマーとか好きだから！

いや、前々からちょこちょこ雑記や折本にて  
爆乳ルイズ描きたいって事は書いてたのですが  
まさか本当に実行するとは自分でもなんとなく度し難い  
正に蛮行といえますかほんとうにすみません  
ステータスも希少価値も台無しだ！

友人達にも  
「頭打ったか？」  
「何か悪い物でも食ったのか？」  
「高級な食材であろうがなんであろうがマヨネーズをぶちまけ  
台無しにする重度のマヨラー的所業」  
等々心温まるお言葉を浴びせ掛けられました  
正直否定は出来ません  
こんな変態でごめんなさい

でもこう低身長のお嬢さんに規格外の爆乳ってのは  
余計大きさが目立ってエロいと思います。うん  
身長高いお嬢さんの方が普段は好物なのですが、  
たまにはこういうのもいいよね！

後はなんで今ルイズなの？大河じゃないの？ばかなの？  
とかも言われたりしたんですが、  
大河はなんか微妙に違ったりするのがふしぎ  
自分でも理由が良く分かりません  
ルイズと才人のバカップルっぽい所が良いのかなあ？

ということでこんな本でしたが  
楽しんでいただける人がもし居たら幸いです。  
今後とも宜しくお願いします。

2008.12.30 瀬浦沙悟 拜

- 奥付 -

誌名： 「100のルイズ」  
発行日： 2008年12月30日  
発行者： 沙悟荘  
瀬浦沙悟  
印刷：コピー誌

発行者連絡先：  
E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp  
HPURL： <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

禁・無断転載・複製

2008 WINTER



SAGO-JO